

## 付録 4

### 北欧閣僚評議会新聞発表

1995年4月28日ストックホルム

4月28日、ストックホルムでの会議で北欧閣僚評議会は、北欧男性会議と合同して北欧における平等社会実現のための活動計画を採用する事を決めた。大臣たちもまた、北欧男性会議に次いで討議をし、他の者から孤立した出来事であってはいけないという点について賛同した。そのため彼らは、次のような提案をもって男性と平等に関する領域—北欧的視点や、より広い世界的視点—における継続的で積極的な活動を促進する事に同意した。

1. 北欧諸国は、国連女性委員会の議題に、平等への取り組みにおける男性役割を取り上げるように提案するだろう。北京の世界女性会議を準備しているその委員会は、現在、年に一度会議を開き、平等、開発、平和に関するある事前の計画を立てている。
2. 北欧諸国は、国連によって計画され、1995年12月に韓国で開催される専門家会議を支援し、参加するだろう。その専門家会議は、子どもや高齢者のケアにおける男性役割の問題を集中的に取り上げるだろう。その意味するところは、男女平等を追求しつつある国の視点から、問題を討議することである。そのような視点の点では、北欧諸国はこの分野の重要な経験を提供することができる。
3. 北欧諸国は、平等への取り組みや、北欧と地球規模的視点での全体的な社会における男性役割の多様な側面を研究するイニシアティブを取るだろう。その研究は、こうした問題について討議し続けるための基盤として、国連加盟国や様々な国連専門家団に流布されるべきである。
4. 北欧の平等担当大臣たちは、北京の女性会議へのそれぞれの重要なメッセージにおいて、こうした問題に包括的に関わることの重要性を強調することになるだろう。
5. 北欧諸国は、様々なヨーロッパの連携（EUとヨーロッパ会議）にて、その問題を後押しすることにもなるだろう。

(松井幾子)